

(仮称)栗子山風力発電事業計画段階環境影響評価方法書に対する環境の保全の見地からの意見について

1 環境の保全の見地からの意見について

(1)工事の実施によるもの

環境要素(環境要因)	福島市の意見	提出課
騒音・振動・大気質 ・その他	工所用資材の搬入に伴う、騒音・振動・大気汚染(窒素酸化物、粉じん)については、沿線住民、野生生物等への影響が最小となるよう検討し、環境保全措置に反映すること。また、交通安全にも十分に気をくばり、違反、事故の無いよう注意を払うこと。	環境課

(2)土地又は工作物の存在及び供用によるもの

環境要素(環境要因)	福島市の意見	提出課
騒音及び超低周波音	施設の供用にあたり騒音により周辺住民の生活環境等を損ねる事が無いよう、設置場所、発電機について十分検討し選定すること。また、調査・予測・評価を適切に実施し、環境保全措置に反映すること。	環境課
景観	当該事業箇所は本市内には存在しません。本市側からの景観上の観点において、以下の点をご配慮下さい。 ・可視領域が国道13号も含まれていることから、国道13号のいずれかの場所も眺望点として含めること。 ・上記箇所と併せ、磐梯吾妻スカイライン等からの眺望の影響について、フォトモンタージュ等(景観シュミレーション)を活用、検討すること。	都市計画課

(3) 上記(1)、(2)双方によるもの

環境要素(環境要因)	福島市の意見	提出課
動物・植物・生態系	希少種に限らず、動物・植物・生態系の多様性に配慮し、開発区域ならびその周辺に対する重大な影響を回避、低減するよう環境保全措置を講ずること。	環境課
水環境	<p>福島市では、「福島市水道水源保護条例」を策定し、摺上川ダムの福島市内の集水域を「水道水源保護地域」として護ってきた。</p> <p>摺上川ダムの水は、福島地方水道用水供給企業団（一部事務組合）のすりかみ浄水場で浄水され、福島市を含む3市3町（二本松市・伊達市・桑折町・国見町・川俣町）、約40万人の住民に供給しており、福島市においては、市民約28万人の99%に供給している。</p> <p>その水質は、世界に認められるほど良質で、ペットボトル水「ふくしまの水」がモンドセレクションで最高金賞を4年連続で受賞し、国際味覚審査機構（International Taste Institute）でも優秀味覚賞を受賞しているほどである。</p> <p>これらのことの重大さを十分に認識し、摺上川上流の集水域において健全な水循環の阻害や、良質な水質の悪化を招くことが無いよう、措置を講じること。上記のことから、対象事業実施区域の東側に隣接する「水道水源保護地域」は、摺上川最大の支流である烏川の集水域に位置しており、滑谷沢等いくつもの沢が流れているため、鎌沢と同様に水の濁りの水質調査地点に加えるよう要望する。</p>	河川課 水道局 営業企画課
水環境	<p>本事業が、周辺河川流域の健全な水循環(涵養・流水・水質保全など)を阻害することが無いよう事業計画に配慮すること。</p> <p>また、工事中、供用中の油類、塗料、農薬、薬品等の河川への流出、地下浸透を含む水質事故に対して万全の備えをし、水質事故時には、速やかに当市への報告と対策を行うことを確約すること。</p>	環境課 水道局 営業企画課

2 その他環境要素に含まれない総括的事項についての意見

その他	福島市の意見	提出課
総括的事項	<p>事業の実施にあたっては、各種関連法規に基づく必要な手続き等について、事前に行政担当窓口等の指導を受けること。</p> <p>事業の実施にあたっては、周辺の住民及び隣接する土地の地権者に対して、十分に説明を行い、合意形成を図ること。</p>	関係各課共通

3 防災上の意見、指導、協議すべき事項、その他の意見

その他	福島市の意見	提出課
防災上の意見・協議・指導事項等について	<p>福島市側の森林地域内で作業道を新設するために樹木伐採を行う場合は、事前に農林整備課と協議をすること。</p>	農林整備課
	<p>工事の際も含め、周辺農地に雨水等に伴う土砂の流出、土砂の崩壊、その他の災害の発生により、営農の妨げにならないよう、十分な災害防止対策等を講じること。</p>	農業委員会
	<p>開発区域が全て山形県のため、特に都市計画法の手続きは無いが、工事中並びに全体計画について、下流域における雨水被害防止のため、雨水抑制施設の設置などの流量増対策を要望する。</p>	開発建築指導課
	<p>近年、局地的大雨や台風などが頻発し、記録的な降雨量が多くなっていることから、法定外水路や河川の土砂堆積・洗掘・溢水、土砂災害等の発生が懸念される。風力発電事業により下流への雨水流出量が増加し、上記のような災害が発生することがないように調整池、沈砂池等を設置し、適正な維持管理を行い災害防止に努めること。 また、排水計画について、災害防止対策も含めて協議すること。</p>	河川課
	<p>風力発電事業により雨水流出量が増加し、河川や法定外水路の溢水、土砂災害の発生等を懸念する地元住民もいることから、地元関係者や関係機関への十分な説明・協議を行い、地元住民の不安解消に努めること。</p>	